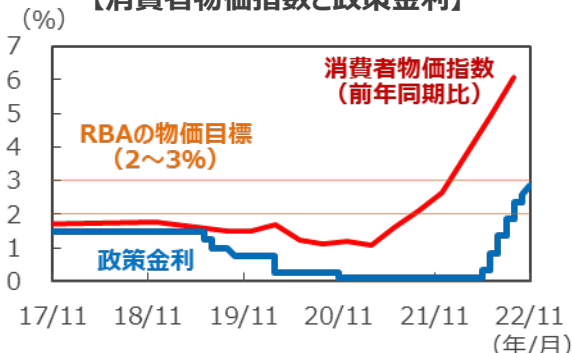


今日のトピック RBAは0.25%の利上げを実施 インフレ抑制を最優先として今後も利上げが見込まれる

ポイント1 0.25%の利上げを実施

- 11月1日、豪州準備銀行（RBA）は金融政策決定会合で、政策金利である翌日物金利の目標を0.25%引き上げて、2.85%としました。RBAは今年5月以降、連続して利上げを実施しており、その利上げ幅は合計で2.75%に達しました。声明文では、物価の安定は強い経済と完全雇用の持続のための前提条件だと述べられており、RBAはインフレ率を物価目標（2～3%）の範囲に戻すことを最優先事項としています。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 消費者物価指数は2017年10-12月期～2022年7-9月期。変動の大きい項目を除外したトリム平均値。

政策金利は2017年11月1日～2022年11月1日。

(出所) オーストラリア統計局、Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 インフレはRBAの目標を大幅に上回っている

- 10月26日に発表された豪州の7-9月期の消費者物価指数（CPI）は、前年同期比+7.3%と依然RBAの目標を大きく上回り、過去最高水準となりました。また、変動の大きい項目を除外した、基調的な物価を示すトリム平均値では同+6.1%となりました。RBAの中心的な予測では、インフレ率は2022年内に8%前後となってピークを迎え、2023年には4.75%前後、2024年末には3%をやや上回る程度となり、徐々にRBAの物価目標に向かって低下していくと見られています。

【豪ドル円レートと豪日金利差】



(注) データは2019年11月1日～2022年11月1日。

豪日金利差は2年国債利回りの差。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開

これまでの利上げの効果を注視、引き続き底堅い成長が続こう

- 豪州の7-9月期のCPIが高水準だったこともあり、一部では0.5%の利上げを予想する向きもありましたが、今会合の0.25%の利上げは概ね市場予想の通りでした。RBAは声明文で、金融政策にはタイムラグがあり、これまでの金利上昇の完全な効果はまだ表れていないとの認識を示しつつも、今後もさらに利上げを実施することを示唆しました。今後は、世界経済の減速や、これまでの利上げの効果により豪州経済の成長ペースは緩やかになると見られますが、RBAの予測では2023年、24年は前年比+1.5%と底堅い成長を維持すると見られており、豪ドルは底堅い推移が見込まれます。

ここも チェック!

2022年10月26日 2022年11月の注目イベント
2022年10月21日 米中間選挙と株式市場のアノミーを確認

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。